

令和7年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行
の状況についての点検及び評価に関する報告書

阿波市教育委員会

令和8年8月31日提出

目 次

1	教育委員会の事務に関する点検・評価について	1
2	点検・評価の対象事業	1
3	評価の方法	1
第2章 令和7年度教育委員会活動報告		
1	教育委員会の組織	2
2	教育委員会会議開催状況	2
3	その他の活動	3
第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業報告		
1	教育総務課	4
2	学校教育課	5
3	学校給食センター	6
4	社会教育課	6
5	公民館	8
第4章 事務事業の点検・評価結果		
1	学校教育	9
2	生涯学習	35
3	スポーツ振興	47
4	芸術・文化振興	52
5	青少年健全育成	61
6	人権教育・国際理解	72
第5章 学識経験者の所見		
1	学識経験者の所見	77
資料編		

阿波市第2次教育振興計画（前期計画）における重要施策の業績評価指標一覧

第1章 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図るものとなっています。

本報告書は、点検及び評価にあたり、令和3年度に策定した「阿波市第2次教育振興計画（前期計画）」の目標及び基本方針を反映したものになるよう作成しました。

2 点検・評価の対象事業

令和7年度の教育委員会会議の開催状況や教育委員会の所掌に係る事務事業について、点検を行いました。評価については、「阿波市第2次教育振興計画（前期計画）」で策定した「5年間の主要事業」全68事業を対象事業としました。

3 評価の方法

「阿波市第2次教育振興計画」で策定した「5年間の主要事業」について、事業ごとに評価シートを作成し、次のような観点に基づき評価を行いました。

①事業の評価（4項目・4段階）

- ・必要性：市民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか。
- ・有効性：施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。
- ・経済・効率性：事務効率化・コスト縮減しているか。
- ・目標達成度：計画どおりに目標を達成できたか。

②総合評価（4段階）

- A 十分成果が上がっている。
- B 成果が上がっている。
- C 改善の余地がある。
- D 抜本的な見直しが必要。

③事業の方向性（5段階）

- ・さらに重点化する。
- ・現状のまま継続する。
- ・見直しのうえ継続する。
- ・事業の縮小を検討する。
- ・休止・廃止を検討する。

なお、今回の点検及び評価にあたり、学識経験者の知見の活用として、植木啓仁氏、妹尾明氏に所見をいただきました。

第2章 令和7年度教育委員会活動報告

1 教育委員会の組織

氏 名	令和8年3月31日現在の役職	異動状況
高 田 稔	教育長	
細 川 敬 雄	教育長職務代理者	令和7年7月1日教育長職務代理者就任
森 本 匡 史	教育委員	
森 文 彦	教育委員	
曾 川 京 子	教育委員	
吉 原 美 穂	教育委員	令和7年7月1日委員就任

2 教育委員会会議開催状況

	開 催 日	議 案	協議事項	承認事項	報告事項	計
第1回定例会	令和7年4月24日	1	1	1	3	6
第2回定例会	令和7年5月26日	2	2	1	1	6
第3回定例会	令和7年6月30日	3	1	1	1	6
第4回定例会	令和7年7月25日	4	1	1	1	7
第5回定例会	令和7年8月22日	3	1	1	2	7
第6回定例会	令和7年9月26日		1	1	2	4
第7回定例会	令和7年10月24日	1		1	1	3
第8回定例会	令和7年11月20日	2	1	1	2	6
第9回定例会	令和7年12月24日	1	1	1	1	4
第10回定例会	令和8年1月22日	3	1	1	1	6
第11回定例会	令和8年2月25日	8	1	1	2	12
第1回臨時会	令和8年3月4日			1		1
第12回定例会	令和8年3月23日	3	1	1	1	6
計		31	12	13	18	74

3 その他の活動

(1) 委員研修会等への参加

①県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会

主 催 徳島県教育委員会

開催日 令和7年4月3日

場 所 県立総合教育センター

内 容 ・令和7年度教育重点施策説明
・県教委各課等施策説明 等

②第71回定期総会並びに研修大会

主 催 徳島県市町村教育委員会連合会
徳島県市町村教育長会

開催日 令和7年4月25日

場 所 徳島市役所

内 容 ・教育功労表彰
・研修講演会 等

③県・市町村教育委員会教育委員等研修会

主 催 徳島県教育委員会

開催日 令和7年11月5日

場 所 阿波市役所（リモート開催）

内 容 ・県内市町村事例発表
・研修講演会「生成AIと学校教育について」

(2) 学校訪問

開催日 令和7年10月10日～10月15日

場 所 市内全小学校・中学校

内 容 授業・施設の視察

(3) 総合教育会議

開催日 令和7年12月17日

場 所 阿波市役所

内 容 「阿波市教育大綱の改訂について」
「令和7年度市教委学校訪問（タブレット端末の利活用）について」
「夏季休業日期間の見直しについて」

(4) 学校教育賞表彰

内 容 優れた成績をあげた阿波市内の幼児・児童・生徒を表彰
個人表彰：39名 団体表彰：7団体（54名）

第3章 教育委員会の所掌に係る事務事業報告

() 内は事業費

- (1) 令和6年度 市単独事業 (※令和7年度へ繰越)
- ・土成小学校北校舎屋上防水改修事業 (36,179千円)
監理業務 : 1,034千円 改修工事 : 35,145千円
- (2) 令和7年度 市単独事業
- ・阿波中学校校舎屋上防水改修事業 (55,363千円)
監理業務 : 1,639千円 改修工事 : 53,724千円
 - ・一条小学校プール改修事業 (1,595千円)
設計業務 : 1,595千円
 - ・柿原小学校北校舎外壁防水改修事業 (6,908千円)
設計業務 : 297千円 改修工事 : 6,611千円
 - ・土成小学校北校舎トイレ改修事業 (4,037千円)
改修工事 : 4,037千円
 - ・阿波市内小中学校屋内運動場アリーナ照明改修事業 (71,814千円)
監理業務 : 1,922千円
改修工事 : 10,513千円 (土成中)
改修工事 : 19,404千円 (阿波中)
改修工事 : 17,094千円 (一条小・御所小・土成小)
改修工事 : 9,149千円 (伊沢小)
改修工事 : 13,732千円 (久勝小・林小)
 - ・阿波市内小中学校屋内運動場空調機器設置事業 (3,630千円)
基本設計業務 : 3,630千円

2 学校教育課

- (1) 外国青年招致事業 (22,462千円)

外国語指導助手(ALT) 4人を市内の各中学校に配置し、授業の補助、教師の補助教材の作成、小学校の英語活動の推進、地域住民の英語講座の指導等、国際理解教育の推進を図っている。

- (2) 小学校英語活動事業 (18,861千円)

英語活動を通じて、外国の言語や文化に慣れ親しみ、聞くことや話すことなどで、実践的なコミュニケーション能力の基礎を養っている。5人の日本人英語指導講師を全小学校に配置し、全学年で英語活動を実施した。

- (3) 教育支援センター (1,437千円)

不登校やひきこもり等の学校に行きにくい児童生徒に対して、情緒の安定、基本的生活習慣の改善、集団生活への適応、基礎学力の補充等を行い、社会的に自立する力を養っている。

(4) 義務教育修了祝金支給事業 (2,980千円)

生徒が義務教育の課程を修了する際に、高校等の入学準備などに係る経済的負担を軽減し、生徒の健全な育成を支援するため、義務教育修了祝金として、生徒1人につき1万円を298名に支給した。

(5) 学力向上推進講師派遣事業 (41,420千円)

市内小中学校において、学習指導支援ができる講師や経験豊かな退職教員が、児童生徒の学力向上のために、学習支援を行っている。

(6) 学校教育ICT活用事業 (236,421千円)

小中学校の児童・生徒・教員全員にパソコンを配備することに加え、デジタル教科書、大型提示装置等のICT機器を活用し、「楽しくて、わかる授業」の実践に取り組んでいる。時代にあった情報活用能力を身につけるとともに、児童生徒の興味と関心を高め、学力向上につなげている。

(7) 奨学金貸与事業 (0千円)

教育の機会均等に資することを目的に、学校教育法に基づく高等学校、特別支援学校高等部、高等専門学校及び大学に在学し、経済的な理由のため修学が困難な方を対象に奨学金を貸与している。令和7年度は、貸与者なし。

(8) 奨学金等返還支援事業 (2,920千円)

阿波市在住の就労者で、29年度以降に返還を開始した方に、返還額の3分の2（上限10万円）を5年間助成する。なお専業農家の方は、申請年度の返還額（上限20万円）を助成する。令和7年度は、32名に助成した。

(9) 阿波市小中学校入学祝金支給事業 (4,230千円)

入学時における家庭の経済的負担を軽減するとともに、児童及び生徒の健全な育成を支援することを目的に、児童及び生徒1人につき1万円を423名に支給した。

(10) 英語検定料補助金交付事業 (490千円)

英語検定に係る家庭の経済的負担を軽減するとともに、生徒の英語力及び英語学習意欲の向上を目的に、検定料（上限3千円）を補助する。令和7年度は170名に補助した。

(11) 通学用かばん配付事業 (2,578千円)

小学校入学時の経済的負担軽減と通学時の身体的負担の軽減を図るために、小学校に入学する子どもに通学用かばんを無償配付する。令和7年度は、168名に配付した。

3 学校給食センター

学校給食衛生管理基準に基づき、安全・安心でおいしい給食を児童・生徒に提供するとともに、食育への取組を推進している。

給食センター管理費 (324,148千円)

(1) 7年度 給食配食数 (456,414食)

(2) 7年度 給食費 (76,952千円)

1食あたり 中学校 343円

(保護者負担：市内在住無償、市外在住301円)

1食あたり 小学校 315円

(保護者負担：277円、2学期～市内在住177円)

(3) 令和7年度 食育活動

- ・ 給食の時間校内放送用原稿の作成、給食だよりの発行
- ・ 夏休み親子給食センター探検隊
- ・ 夏休み特別企画・親子でチャレンジ「あわ味キッチン」の実施
- ・ 給食センター見学会の実施
- ・ 「Awa産Our消Myメニュー」コンクールの実施
- ・ 徳島県学校食育推進パワーアップ作戦の実施

(4) 令和7年度 地産地消の取組

- ・ 「第2次阿波市学校給食地産地消推進計画」に基づき、阿波市学校給食農産物供給協議会を毎月開催し、野菜の使用予定等の協議を行い、年間を通して地場農産物の安定購入を行うとともに、安全・安心でおいしい給食の提供に努めた。
- ・ 「Awa産Our消Myメニュー」コンクールは、児童・生徒から556点の応募があり、うち入選作品を、学校給食献立として提供を行った。また、アエルワ食堂でも地産地消献立メニューとして提供を行った。

4 社会教育課

(1) スポーツ振興事業

①阿波市ジュニア駅伝

令和7年12月7日実施 男子14チーム・女子3チーム・低学年8チーム 計216名

②阿波シティマラソン

令和8年2月22日実施 ハーフマラソン 486名 エンジョイマラソン 39名
チャレンジマラソン (2km) 177名

③徳島駅伝 (4,400千円)

10月から徳島駅伝阿波市選手団合同練習会を実施。

令和8年1月4日、5日に開催された第72回徳島駅伝に参加した。

④総合型地域スポーツクラブ活動補助事業 (1,350千円)

(2) 学力向上支援事業 (650千円)

学力向上支援事業 (ばあわーあっぷ) を4カ所で実施している。

登録者数 78名

(3) 生涯学習推進事業

①生涯学習事業 (各種講座・演奏会等) (2,396千円)

開催回数: 111回 参加者: 延べ1,958名

②文化振興事業 (650千円)

文化振興のため、阿波市文化協会等に助成を行っている。

③市内図書館4館指定管理委託(年間) (91,591千円)

(4) 社会教育関係事業 (1,840千円)

①二十歳のつどい 令和8年1月2日開催 出席者数: 245名

②ALTによる英会話教室 開催数: 各教室34回 受講者数: 62名

③親子ふれあい木工教室 令和7年7月27日開催 出席者数: 60名

(5) 人権教育活動事業 (1,363千円)

①人権教育啓発のための各種研究大会・研修会 : 8回

②人権啓発を進めるための事業

◎心のリフォーム学級 開催数: 3回 参加者: 253人

◎阿波市人権フェスティバル 12/14 参加者: 398人

(6) 文化財保護事業 (6,124千円)

①指定史跡天然記念物維持管理事業 (阿波の土柱・土成丸山古墳・

北岡東古墳・秋月歴史公園環境整備・野神の大センダン等)

②市指定文化財補助事業(椎ヶ丸古墳・流慶塾跡・郡城跡・御所神社の獅子舞)

③藍のふるさと阿波魅力発信協議会事業

④文化財の周辺環境整備 (西林村基線西端点)

(7) 青少年健全育成事業 (1,231千円)

①市内小中学校事業 (環境整備活動、田植え体験ほか)

②夏休み体験学習 令和7年7月27日 参加者: 60人

(再掲: 親子ふれあい木工教室)

(8) 社会教育施設等整備事業

①吉野柿原公民館解体工事 24,618千円

②土成農業者トレーニングセンター非構造部材及び非常用照明等改修工事
11,242千円

5 公民館

(1) 公民館主催事業 (14事業)

地域住民の生涯学習の拠点として各公民館で各種講座を実施している。

(2) 各種団体の育成 (132団体)

地域住民が自主的に行う生涯学習活動を支援するため公民館を定期的に利用する団体に無償での貸館を行っている。

(3) 勤労青少年ホーム教室・クラブ活動事業 (214千円)

(施設の維持管理費は除く)

硬式テニス、卓球、フットサル、ボウリングなど